

立川競輪事業の将来像検討委員会

第4回議事録（要約）

○日 時：平成23年11月8日（火） 14：30～16：30

○場 所：立川競輪場 会議室

○出席者：岡部委員長、小町副委員長、白土委員、溝口委員、新海委員、田中(準)委員、
中野委員、田中(良)委員、小林委員、山崎委員、山本委員

○議 題：今後の競輪場の運営について

○議事内容：

委員長 これより第4回将来像検討委員会を開催します。

本日はまず施設改修基本計画についての報告をしたのち、将来像の報告書案について皆様にご協議、ご検討を頂きたいと思います。

事務局 （施設改修基本計画素案の説明）

委員長 施設改修基本計画についてご質問等あれば伺います。（質疑なし）

それでは本日の協議事項として将来像検討委員会報告書案の協議に移りたいと思います。これまで3回にわたりましてご協議頂いたものを事務局の方でまとめたものが今お手元の方にお配りしました報告書(案)でございます。まずこれについて概略、特に大きく変わった点、追加した部分等を重点的に説明願います。

事務局 （将来像検討委員会報告書案の説明）

委員長 まとめとして23ページの下グラフをご覧頂きたいのですが、経営改善策と施設改修を行うことにより、例えば平成24年度は4億4,000万が4億4,600万円、一番下の平成28年度は1億6,600万円が4億400万円というふうに、収益向上効果が上がる見込みが立てられています。

事務局 平成26年度までは経営改善による効果で、施設改修による効果が現れるのは、平成27年度以降となっています。

委員長 あと一般会計の繰り出しと基金の積立金について説明して下さい。

事務局 （一般会計繰り出しの説明）

委員長 ではここまで気付いた点やご意見等あればお願いします。

委員A 23ページ、26年度と27年度の施設改修後とありますが、27年度以降に施設改修が始まるのですか。先ほどの施設改修の基本計画の方では走路の全面改修は24年度となっていますが、その効果はないのですか。

事務局 走路の改修によってお客様が増えると考えた訳ではありません。先ほどの正門のイメージが暗い等があって、26年度までには一定の改修をしますので、新しくお客様の入場者が増える、もしくは下げ止まるということで、ここか

ら改修の効果が出てくると考えています。

委員 B 24 年度から順次改修に入っていくということで、24 年度には第 4 スタンドを解体し芝生化します。25 年度には中央スタンドの観客席のリニューアルを行います。26 年度には正門裏門を改修していくなど順次改修を進めていく予定です。27 年度から 28 年度にかけて投票本館を壊して新しい建物を建て、28 年度に完成ということになりますが、そこまでに 24 年度から順次段階的に行ってますので、27 年度の時点から一定の効果が出てくるだろうという考え方です。

委員 C 収益増には施設を改修した効果と、例えば運営側の経費の削減等の改善で収益が上がるケース、他団体 J K A の交付金下げ等の外部的な要因で上がっていく、大きく分けて 3 種類あると思います。それが一緒に書いてあるので分かりにくいです。施設改修を要因として上がるものとそうではないものが混ざってるので、施設を改修すればこんなに上がるのかと思ってしまう。少なくともその中の切り分けが分かるような形にした方がいいと思います。

委員 B グラフを色分けして分かるような形にします。

委員 C 施設改修すればイメージが上がって売り上げも上がるということで施設改修計画の方は具体的な絵を描き、将来像検討委員会の方としてはその裏付けを整理した、という結論になってるようですが果たしてそれだけで良いのでしょうか。議論としてはもう少し競輪業界全体に対するものが出てたような気がするのですが。その辺はまとめるときに事務局側として議論はあったのでしょうか。

事務局 特にそこまでは考えていません。

委員 C たぶん立川市でどうにかなる問題と立川市だけではどうにもならない問題ではあるが施行者として物申すというものがあると思うので、その辺を記述した方がいいと思います。

事務局 わかりました。

委員 D 17 ページから 18 ページにかけての従事員の適正化のところですが、第 3 回の時に委員会資料ということで過去からの平均基本給の推移、高賃金順という分かりやすい表と各場の年齢別の構成員の割合という表をお出し頂いたのですがこれは資料としては出せないってことですね。

委員長 これは公表してはいないですか。

委員 E 私共の方で内部資料として作成して施行者にお送りしていますので、基本的にその内容について公表する場合は、各施行者に確認していただきたいと思います。

委員 B 資料の中では立川の状況だけではなくて他場の状況も入っているのでその

部分が難しいです。立川だけを切りだしていく分には差し込んでも構わないかもしれませんが、そうすると比較はできません。

委員 D 立川だけでも他の業務に比べて高水準であるということは分かるかと思えます。あとは文中に書いて頂いたように「全体の中でも上位に位置し」というところ、これは順位だけであれば明確にできるのですか。

事務局 立川の順位については問題ないと思います。

委員 B 立川だけの平均基本給なら別に出しても構わないと思います。議会で聞かれればお答えすることですから。それが一般的な立川市の賃金水準とどれだけ差がついてるかというのはそれを見て頂ければ分かると思います。

委員 D それと併せて、上から 4 ～ 5 行目にかけてのところで「退職者不補充の他、希望退職制度実施などにより早期に目標を達成すれば」という書き方になってますが、これは希望退職制度を実施すると考えて良いのでしょうか。

委員 B 希望退職については実施の方向で今年度中に進めるつもりです。

委員 D そうであれば「希望退職制度実施などにより早期に目標を達成することが望ましい」とかそういう書き方になるかと思いました。それから一番下の 2 行ですがここも文のまとめが「賃金や手当等の引き下げについて労使協議を行う必要がある」となっていますが、労使協議を行うことが目標なのではなくて労使協議を行うことによって賃金や手当等の引き下げの方向で調整する必要があるということだと思えます。

事務局 今の賃金の全国順位とか立川市の金額を具体的に載せることは問題ないと思いますので、より具体的に分かるように記載します。表現もそういった形で直すようにします。

委員長 その他にお気づきの点等ありますか。

委員 F 施設改修前までの年度で大きな効果としては従事員等の削減と施設管理の 2 つ、外部的に決まった賞金が前回より大きく下がったということがすごく効いてると思います。一方、売上向上策の方はこの 24 年度、いわゆる貸付収入がある程度維持されるということではないかと思うのですが、こちらについてはやってみなければ分からないところもありますのでもう少しこの全体の中ではっきり示してはいかがですか。今のままでは読み取りにくいというか、経費削減の方はこれでいいと思うのですが、その後に施設が全てリニューアルをされればさらに下げ止まりと投資効果が見込めるというふうに二段階の策というようなことをはっきりお示ししてもいいと思います。

委員長 場外開催の日数を年々増やしているので、数で示したらどうですか。

委員 B これまでの推移は載せてはいないですね。

委員 F 12 ページにあるように、これまでのままであれば毎年売上は 10% ずつぐら

い減る、20 ページにあるように経営改善をしていくことでそれを下げ止めるということになっていると思います。

また、G の場外発売を大幅に増加させるという設定がけっこう効いていると思います。

委員 B 場外開催の日数が増えている推移を表現しながら、もう少し書き加えるようにします。

委員長 今は G を京王閣と同時発売の場合もありますが今後どうするか。今度 12 月の競輪祭は京王閣でも発売するけれども一概にそうとは言えませんね。

委員 B 京王閣との関係もありますが、西武園との競合もできない、京王閣よりもむしろ西武園の方が競合できないという状況があるので、その辺も表現するのかどうか、難しいところがあります。

委員 F この時点では詳しく書く必要はないと思います。

委員 E 昔は京王閣とは基本的に同時開催しないで、西武園とは競合する時があるという日程でしたが、今はその 3 場のうち 2 場が競合するような状況ですか。

委員 B 今は立川と西武園は競合していません。

委員 E 西武園の方とはしてないんですね。

委員長 どちらかというと距離的には西武園の方が近いですか。

委員 B 車で言うと西武園 30 分、京王閣 1 時間です。

委員 F 今のところは表現としては「積極的に場外開催する」という感じでいいと思います。

委員 G 会議の中で何回かお話したかと思いますが、やはり入場者数の減少は事実としてありますが、入場者がどういう層で、例えば高齢化しているという話もありましたし、どんな希望を持っているかという利用者の声、アンケートなんかも提示して頂いたのですが、そういうところがあまり記載されていないようなので、最初の入場者数の推移の中に、来てる方の現状であるとか、どんな希望を持っているかとか、もう少し厚みを持たせてもいいと思います。

委員長 入れるとしたら 2 ページの最初のところでしょうか。

委員 B 分かりました。過去のアンケート等から記載します。

委員長 年々購入単価が減少し、平成 4 年度に比べて 1/4 ぐらいになってますが、全輪協あるいは J K A としては原因はどちら辺にあるのか分析されたことはありますか。

委員 H 1 人あたり購買額、これはやはり景気の低迷による個人所得の低下というのが大きな要因とは書いてあります。

委員 C 景気低迷の根底には人口構造が大きく変わっていることがあります。従来の人口増加を前提にした経営戦略を取ってるからニーズとずれが生じて景気が

落ちるのは当たり前、そこにシフトしてない方が怠慢かなと思います。景気が悪いことの背景をしっかりと捉えないといけないと思います。

委員 H 競輪場とかその施設単位での 1 人当たり購買額というのは 1 人のお客様、例えば大口のお客様が来る来ないで大きく影響されるので変動はしやすい要素ではあります。それに加えてインターネット投票のシェアも伸びてきており、本場の売り上げが 12.5% ぐらいしかありませんのでかなりそれ自体が下がってきているという傾向はあります。

委員 E 基本的にはそもそもギャンブル全体のマーケットが大幅に縮小していると思います。その理由を挙げるのは難しいですが、購買額単価が下がってるので全般的に下がる傾向にあります。先ほど言われたように確かにギャンブル市場というものが狭くなっている中で、競輪という商品しかないのでもって何ができるかということになると思います。ただ購買額に関しては例えばこれから若い世代の方が入ってきたら 1 人単価がますます減っていくと考えますので、そうすると広く浅くという戦略の組立をしていかないとディープなお客様というのは今後は難しい。それと昔の競輪のように賭式が枠番と車番しかないという中でかたいレースで大口のお客さんが大量に投票するというような形の購買というのはもう期待できないと思います。そうすると新規のお客さんに対してどういうふうに認知度を高めていくかということが重要であって、購買額が減少していくのは仕方がないと思います。

委員長 以前のように 1 ～ 2 万人お客さんが来て、平均で 5 ～ 6 万円使って、言ってみればその方が異常だった。今の方がむしろ娯楽としては健全化してる、1 万円持ってくれば 1 日ゆっくり遊べる。若い人でもそのぐらい。どうしても競輪というと家を無くしたとかそんなイメージを持って見られがちですが今はもうそんなことはないと思うんです。○委員は昔から競輪をずっとご覧になってきてどう思われますか。

委員 I やはりずいぶん変わってきました。時代も変わってきてお客さんも高齢化しています。競輪というと確かにイメージは悪かったですが、最近は大いぐ変わってきたと思います。来年以降、女性選手が誕生するのでまた期待できると思います。若い人のイメージがまた変わって遊びかたがた競輪場に出向いてくれればそれなりの成果はあると思います。今はお客さんが高齢化していて 1 日 5,000 円ぐらいで遊んでる人も多いし、なかなかたくさんは買わないです。

委員 A 今お話に出た女性の競輪選手については書いてなかったですね。

委員長 来年の 7 月から女子競輪が始まりますが、すぐには効果出ないでしょう。

委員 C すぐにではなくても全体のイメージが上がってくると思う。

- 委員 D 今の話にあったようなすごくギャンブル色の強い競輪事業だと逆に広報紙を使っの P R は厳しいので、一つのレジャーとして、より健全になった競輪というものを多くの方に楽しんで頂くということが、これからは P R に活かせると感じました。
- 委員 C 整備は芝生の広場を作ったり、開催日以外でも愛される施設にしていくなど、施設計画の中で「市民に愛される」というのがありましたが、市民だけでいいのでしょうか。市で言うところの市民とは、在住在勤はもちろんのこと、買物に来る人や昭和記念公園等に遊びに来る人たちをも含めて考えていますので、そういう記述をしてもらうといいと思います。読む人は在住の市民としか考えないと思うので、市民に愛されるだけじゃ競輪が成り立たないから過剰投資ではないかと捉えられるかもしれないので、立川市に買物や遊びに来る人も含めて市民としてターゲットにした施設改修です、と書いたらいいと思う。そこら辺は解説が必要ではないでしょうか。確かに広報紙としての取り上げ方の角度を工夫するようになると思います。
- 委員 E 広報について言うと競輪選手のトップクラスはオリンピックでメダルを取っていますし、今は短期登録で世界選手権でメダルを取るような外国人選手も競輪に参加していますので、オリンピック選手を間近で見られるというような点は、その種の広報紙等で使える P R 材料だと思います。
- 委員 F 広報紙には日程等は載らないのですか。
- 委員 D 開催日は最終ページに表で載っています。
- 委員長 以前は日程だけでしたが、大きく載るようにはなりましたね。
- 委員 C 今度 8 ページから 12 ページに増ページしますのでスペース的には色々工夫ができると思います。
- 委員 D ギャンブル自体のところはなかなか難しいと思いますが、市民が遊べるとかここがこう変わったなどのトピック的なものであれば記事化も考えられます。
- 委員 C 山口国体を視察に行ってきましたが、陸上の福島選手が 100M 走るだけで大盛り上がりでした。走るのを生で見るとは映像と全然違う、オーラがあるというのは確かにスタートラインから全然違うんです。やはり生で見られる迫力っていうのは大いに売り出していいと思います。
- 委員 A オリンピックで競輪はメダルを 70 いくつ取ってると昨日テレビでやってましたが。
- 委員 H 自転車競技全部で 73 です。
- 委員 A その中で競輪界が全面的に支援してる女性選手がいるとか。
- 委員 H 田畑真紀さん、スピードスケートの銀メダリストで、今は競輪学校で合宿

をして強化してます。

委員長 日本記録を出した選手よりも世界の選手は強いですね。

委員 H 日本記録で世界だと 10 位でしたのでまだまだ届かない感じですけど、どんどん上を狙って今年から強化が始まっているのでもう少し長い目で見て頂ければという感じです。

委員長 やはり立川を地元とする選手に強くなってもらいたい。先日女子選手を見ってきましたがなかなか強い。そういった選手が地元で育ってくれば盛り上がると思います。

委員 C 国体が一番身近なエポックなので競輪場もそれに乗っていければいいですね。

委員 H 競輪場の施設をきれいに整備するのはもちろんお客様にとっては非常に喜ばしいことだと思いますが、本場開催自体が月に 6 日間程度ですので残りは場外発売をしたり閉めていたりで、その時にどう活用するかも一つ大事な側面だと思います。最近、トラックのレーサーは非常に若者に人気がありますし、一度体験してみたいというニーズもあると思うのです。昨日も幕張でサイクルモードという展示会で JKA もブースを出しました。ここ数年続けて出していますが今年初めて 50M のトラックを作りまして、その中を小さな自転車で走れるブースを作ったところ、非常にお客様に好評で若い方、我々が将来競輪ファンになってほしいような方がたくさん列を作って待って頂いてるような状態でした。あと競輪選手がウォーミングアップに使うような 3 本ローラーというのがありますが、その体験ができるコーナーでも引っぱり無しに若いお客さんに来て頂けました。そんなことから自転車という側面から競輪場に来て頂いたお客様に競輪の魅力を知って頂く、来て頂いた時に場外発売があれば見ながら車券を買って頂くとか、そういうアプローチも一つ大事になってくるかなと。今まで競輪場で一般の方に走って頂く機会は少なかったと思うのでそこをまず開かれた形にして活用していくと非常に将来プラスに向くのではないのでしょうか。

委員 B 伊豆のペロードロームはお金を払えば走れますか。

委員 H 走れます。最初から 250m の急なところは難しいので初心者の方には最初 400m、立川と同じぐらいの角度のところで練習をしてもらってから 250m の非常に角度のきついトラックも走れるようになります。

委員 D 例えばマラソンなどは費用を払ってレースに参加する市民ランナーが増えていますね。バンクは入れる人数にも限りがあるでしょうが、一般の方が一定のお金を払えば走れるようなことは難しいですか。

委員 E ブームになってるから成り立つ可能性もありますね。

- 委員 D 収益にまではいかないかもしれませんが P R になります。
- 委員 H そうですね、あと使い方として新しい自転車の試乗会や、トラックのバイクじゃなくてもロードレースの自転車で乗車フォームをチェックしたりとかに使えるそうです。ヨーロッパではクラブチームがトラックを持っていて、中でまずフォームチェック、乗り方の指導をしてからロードに出ていきます。中にはこっちの方が好きだという選手もいてトラックの選手になっていくというような仕組みになっているので、日本にこれだけ競輪場がありますので立川が是非先駆けになってクラブチームでも作って頂けると盛り上がると思います。
- 委員 B 試乗会はメーカーとタイアップできますか。
- 委員 H できると思います。以前平塚競輪場でイベントをやりまして、場内に自転車屋さんがブースを出し、お客さんが好きな自転車を選んで中で乗るというようなことはやったことがあります。
- 委員 D 複数でフェアとかできたら話題性があっていいですね。
- 委員 G まずいろんなお客さんに来てもらうために、会場として使用するのも良い方法ではないか。
- 委員 H 競輪場が立川市にあるっていうこと自体が今知られなくなっているのです。
- 委員長 モーターショーの自転車版みたいなものは今もやっていますか。
- 委員 H モーターショーの自転車版で今週が東京会場、来週が大阪会場です。年に一度やっています。
- 委員長 走る場所もありますか。
- 委員 H 試走会場もあります。展示場の横をパイロンで区切ってそこを乗ったりとか、そこにも長蛇の列です。
- 委員 C バンク内の整備の仕方色々これからアイディアが出てくるとは思いますが、そういった少し特殊なコースを作ってみるのもいいですね。
- 委員 F 岸和田競輪場はどうですか。
- 委員 H 競技大会のための公認を取るのは大変かもしれませんがトライアルコースなら面白そうですね。そうすると子供さんが来ますので必然的に親も来ると、そういう効果が岸和田競輪場では生まれています。
- 委員 B 今年の上期で岸和田の入場者数が伸びてますが、その辺の効果があるのでしょうか。
- 委員 J 23 ページに 27 年度以降施設の改修後に収益の状況が良くなるということが書いてあって、施設改修基本計画のスケジュールには 27 年度、28 年度に改修がありますが、それをやる前に収益条件が良くなるというように読めま

す。そうすると 28 年度の改修は必要ないのではという見方ができてしまうので、この辺の効果がどう出てくるのかを見せた方がいいというのと、施設改修計画の財源について記述が無いのですがどこかで出るのでしょうか。あと 24 ページの離職慰労金とリース料は当然現時点でいくらという話だと思うので何年時点でこれだけ必要ということを書いておいた方がいいと思います。

委員長 8 億 5,000 万円をずっと持ってないといけないのかどうかですね。

委員 B 慰労金で言うと毎年 5,000 万円ぐらいずつ減っていくイメージです。

委員 C 根本的に立川では自転車を活かしたまちづくりをキャッチフレーズに挙げていて、自転車総合計画を都市整備部が作っています。内容としては自転車専用道の整備や、多摩川小学校にステーションを作って多摩川べりを走っている人を取り込む、交通安全教室を開いてマナーアップを図る等、自転車を一つの売りにしています。そんな中で競輪場がこれと連動するような形でこれからは先に出たような新しい自転車の活用の仕方や楽しみ方という情報発信ができる。そうすればまさに底辺を支える部分でしっかりとまちづくり上のトレンドとしても合っているのだというところを是非まとめあたりで具体的に書いてほしい。

委員長 それでは今日色々頂いたご意見を含めて、明日の経営会議では市長、副市長に報告をします。その後、政策会議に修正が間に合えば修正したものを提出します。

田中良 すごく小さい数字があるのでできれば大きさを揃えてほしい。

委員長 全体的に数字が小さいですね。そこら辺についても直します。市の内部もいくつか報告したりするところがありますので、その後案を取りますか。

委員 B 将来像の方は政策会議が終わってからということになると思います。施設改修基本計画はまだです。

委員長 その間、どれだけ反映できるか、要は皆さんに一度直したものを確認して頂きたい。それがいつになるのか。政策会議が終わった段階になりますか。

委員 B 終わった段階ですね、政策会議でまた意見が出るでしょうから。

委員 C 施設のまとめは来年ですか。

委員 B 施設はこれからパブリックコメントを 1 月に取ります。

委員 C 将来像は。

委員 B 取らないです。将来像はあくまで報告で施設の方は計画ですから。

委員長 それでは、時間になりましたので、委員会を終了します。尚、本報告書につきましては 12 月に議会がありますので報告をして一般の公表となります。

また、報告書に関しまして、政策会議までの間で何かお気づきの点等ござ

いましたら、事務局までお願い致します。

当委員会につきましては本日で一応の区切りをつけますが、施設に関しましてはまだまだ続きますので、ご意見があれば引き続き宜しくお願い致します。

以 上